

健康危機の予防・予見および健康被害発生時における迅速な原因究明と蔓延防止のために不可欠な業務である。

実施すべき調査研究の分野としては、微生物分野では、ウイルス感染症、細菌感染症、食品微生物、感染症動向調査など、理化学分野では、食品添加物、食品残留農薬、遺伝子組換え食品、アレルギー食品、自然毒、医薬品等、健康食品、上水・下水、住居衛生、家庭用品、温泉、放射線などがある。

実施すべき調査研究の方向としては、試験検査技術の向上のために、試験検査の精度向上と迅速化、同時多成分分析法の開発、精度管理や安全確保がある。また、試験検査結果から生じる調査研究課題として、食中毒や感染症の原因解明や公衆衛生上の地域特性課題への取り組みも重要である。さらに、予防的・予見的な視点からは、病原微生物野生株の分離と保存、病原微生物抗体価の調査、環境汚染の影響評価、未規制化学物質の汚染実態の把握が重要である。これらの調査研究を進めるにあたっては、保健所を始め地研、国立試験研究機関（国研）および大学等の関連機関との共同調査・共同研究が有効であり、積極的な参加が望まれる。

また今後、機器・設備の整備、人材の育成、調査研究費の確保、調査研究を評価する機能、関連機関との共同調査・共同研究などの環境づくりのほか、調査研究業績の公表と広報活動を強化していく必要がある。

4. 試験検査機能の充実

健康危機の迅速かつ正確な原因解明のためには、検査マニュアルの整備、定期的な訓練、精度管理の強化、資材・設備・機器等の整備のほか、試験検査に関する情報収集とそのための関連機関とのネットワーク構築、検査に係る人材の育成・研修が必要である。また、検査に関連して、病原微生物・毒物の管理体制を今後厳重にする必要がある。

また一つの地研では不可能な検査を分担するための地研間のブロック内連携、レファレンスセンターの設置、そのための協定の締結が今後すすめられるべきである。さらに国研との連携や検査分担を明確

にすることが必要である。

また、健康被害の拡大防止には、発生地域での迅速な解決が重要であり、そのためには全国地研特に都道府県と政令指定都市の地研で一律の検査水準を確保することが必要である。本研究では、全国地研の現在の検査実施状況に基づき、今後の検査の方向について、①都道府県と政令指定都市の地研で対応すべき検査項目、②地域ブロック内で連携して実施する項目、③国研に検査依頼する項目に分類を行った。理化学分野に関しては、過去の健康危機事例および各地研が保有する健康危機検査マニュアルを解析し、今後検査体制を整えるべき検査項目を掲げた。

5. ブロック内での研究所連携

現在の健康危機は重大化・複雑化しており、一か所の地研では対応できないことがある。このため連携体制を構築しておくことが重要である。平常時の連携としては、地域ブロックの調整を図る地域ブロックセンターを設置し、分野別のメーリングリストの整備、地研間の相互技術研修、試験検査の分担、レファレンスセンターの設置、および連携のための自治体間協定などを整備することが必要である。

健康危機発生時の連携としては、初動時に原因が特定できない場合、検査ができない場合、あるいは処理能力を超える数量の試験検査が必要な場合には、自治体間協定に基づく地域ブロック内で検査の分担のほか、機器貸与や検査人員の派遣による支援、さらに被害が拡大する可能性がある場合には、地域ブロック間での協議や国全体での体制づくりが必要となる。

これらの連携の推進のためには、平常時から「顔の見える関係」を構築しておくことが重要であり、また情報ネットワークの強化や、行政の支援とともに国の予算面での支援が必要である。

6. 国の機関との連携

検疫所と地研の業務は、対応が国内に入る前と国内に入ってからという点で異なるが、健康危機の発生と蔓延を防止するという目的においては基本的に共通しており、これまで学会や研究会での交流のほ

か、技術的な問い合わせや相談および講演会などでも交流を図ってきた。今後、一層の連携を図るには、各地区の地研間で検討されているメーリングリストに検疫所も参加し、より密な情報交換を行うとともに、健康危機管理に必要な検査技術に関して、各ブロックの地研と検疫所間で、研究会や講演会等を開催し、情報交換を図るなど交流を深めることが必要である。

地方厚生局は健康危機管理を業務の一つとしており、健康危機発生時に連携を行うためには、平常時からの人的なネットワークの構築が不可欠である。今後、全国各地方厚生局の健康危機管理への取り組み状況に応じた形態で、両機関の連携を危機管理協

議会や研修会等を通じて深めて行くことが考えられる。

国研とは、検査や確定診断および検査法開発や標準品の備蓄などに関し、地研で対応困難なものについては連携を図る必要がある。また地研が先端的技术や迅速で精度の高い分析方法や診断方法を取得出来るよう、充実した専門研修と共同研究の実施が期待される。情報の連携に関しても、国研が主催する3つの協議会での情報交換を一層活発にするとともに、国研は国内外からの情報が真っ先に集積される機関であり、平常時より能動的に情報を提供されることを期待する。

F. 平成 17 年度研究班組織

氏 名	研 究 所 名	職 名	研究内容
織 田 肇	大阪府立公衆衛生研究所	所 長	分担研究の総括
岡 部 信 彦	国立感染症研究所感染症情報センター	セ ン タ ー 長	分担研究の総括
吉 田 菊 喜	仙台市衛生研究所	所 長	法 的 整 備
鳥 羽 和 憲	横浜市衛生研究所	所 長	理 化 学 検 査
神 田 宏	〃	検 査 研 究 課 長	〃
今 井 俊 介	奈良県保健環境研究センター	所 長	情 報 関 係
大 前 利 市	〃	主 幹	〃
田 中 智 之	堺市衛生研究所	所 長	微 生 物 検 査
米 坂 公 延	〃	主 幹	〃
荻 野 武 雄	広島市衛生研究所	所 長	調 査 研 究
尾 川 健	〃	専 門 員	〃
内 田 幸 憲	神戸検疫所	所 長	連 携
薬師寺 積	大阪府立公衆衛生研究所	生活環境部長	総 括 の 補 佐
塚 本 定 三	〃	細 菌 課 長	総 括 の 補 佐
井 上 清	〃	企 画 調 整 課 長	事 務 局
村 田 則 幸	〃	経 理 総 括 主 査	経 理 担 当
赤 阪 進	〃	主 任 研 究 員	事 務 局
味 村 真 弓	〃	主 任 研 究 員	事 務 局
竹 島 寛 之	〃	主 事	事 務 局
瀬 川 博 美	〃	主 事	事 務 局

表1 地研の主要備品保有状況 平成17年12月

		都道府県(n=47)		指定都市(n=13)		中核市等(n=16)		全体(n=76)	
		件数(%)	合計(平均)	件数(%)	合計(平均)	件数(%)	合計(平均)	件数(%)	合計(平均)
1	DNAシーケンサー	36 (77)	44 (0.9)	12 (92)	14 (1.1)	4 (25)	4 (0.3)	52 (68)	62 (0.8)
2	PCR(DNA増幅装置)	47 (100)	287 (6.1)	13 (100)	70 (5.4)	16 (100)	40 (2.5)	76 (100)	397 (5.2)
3	定量PCR装置	37 (79)	55 (1.2)	13 (100)	19 (1.5)	11 (69)	11 (0.7)	61 (80)	85 (1.1)
4	リアルタイム濁度測定装置	29 (62)	31 (0.7)	9 (69)	11 (0.8)	3 (19)	3 (0.2)	41 (54)	45 (0.6)
5	プロットング装置	29 (62)	48 (1)	11 (85)	16 (1.2)	7 (44)	8 (0.5)	47 (62)	72 (0.9)
6	パルスフィールド電気泳動装置	44 (94)	56 (1.2)	13 (100)	15 (1.2)	9 (56)	9 (0.6)	66 (87)	80 (1.1)
7	自動細胞解析装置(フローサイトメーター)	6 (13)	7 (0.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (8)	7 (0.1)
8	超遠心機	43 (91)	79 (1.7)	13 (100)	18 (1.4)	12 (75)	13 (0.8)	68 (89)	110 (1.4)
9	超低温フリーザー	45 (96)	311 (6.6)	13 (100)	68 (5.2)	15 (94)	25 (1.6)	73 (96)	404 (5.3)
10	落射型蛍光顕微鏡(微分干渉装置付)	41 (87)	65 (1.4)	9 (69)	10 (0.8)	4 (25)	4 (0.3)	54 (71)	79 (1)
11	レーザー蛍光顕微鏡	4 (9)	4 (0.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (5)	4 (0.1)
12	走査型電子顕微鏡	27 (57)	28 (0.6)	9 (69)	9 (0.7)	3 (19)	3 (0.2)	39 (51)	40 (0.5)
13	透過型電子顕微鏡	38 (81)	39 (0.8)	11 (85)	11 (0.8)	4 (25)	4 (0.3)	53 (70)	54 (0.7)
14	LC-MS	30 (64)	39 (0.8)	5 (38)	5 (0.4)	2 (13)	2 (0.1)	37 (49)	46 (0.6)
15	LC-MS-MS	28 (60)	32 (0.7)	9 (69)	12 (0.9)	1 (6)	1 (0.1)	38 (50)	45 (0.6)
16	GC-MS	47 (100)	246 (5.2)	13 (100)	68 (5.2)	15 (94)	32 (2)	75 (99)	346 (4.6)
17	GC-MS-MS	12 (26)	13 (0.3)	1 (8)	2 (0.2)	3 (19)	4 (0.3)	16 (21)	19 (0.3)
18	高分解能GC-MS	21 (45)	26 (0.6)	7 (54)	8 (0.6)	1 (6)	1 (0.1)	29 (38)	35 (0.5)
19	キャピラリー電気泳動装置	16 (34)	22 (0.5)	4 (31)	6 (0.5)	2 (13)	2 (0.1)	22 (29)	30 (0.4)
20	イオンクロマトグラフ	46 (98)	107 (2.3)	13 (100)	32 (2.5)	16 (100)	25 (1.6)	75 (99)	164 (2.2)
21	内イオンクロマトグラフ(臭素酸、シアン測定用)	18 (38)	28 (0.6)	6 (46)	7 (0.5)	7 (44)	8 (0.5)	31 (41)	43 (0.6)
22	TOC(全有機炭素)分析計	34 (72)	43 (0.9)	12 (92)	20 (1.5)	15 (94)	15 (0.9)	61 (80)	78 (1)
23	TOX(全有機ハロゲン)分析計	4 (9)	4 (0.1)	3 (23)	3 (0.2)	0 (0)	0 (0)	7 (9)	7 (0.1)
24	溶出試験機	20 (43)	27 (0.6)	4 (31)	4 (0.3)	4 (25)	4 (0.3)	28 (37)	35 (0.5)
25	赤外分光光度計	33 (70)	42 (0.9)	11 (85)	13 (1)	6 (38)	6 (0.4)	50 (66)	61 (0.8)
26	原子吸光光度計	47 (100)	121 (2.6)	13 (100)	29 (2.2)	16 (100)	27 (1.7)	76 (100)	177 (2.3)
27	ICP発光分光光度計	27 (57)	29 (0.6)	8 (62)	11 (0.8)	3 (19)	3 (0.2)	38 (50)	43 (0.6)
28	ICP-MS	26 (55)	30 (0.6)	7 (54)	9 (0.7)	7 (44)	7 (0.4)	40 (53)	46 (0.6)
29	蛍光X線分析計	15 (32)	15 (0.3)	3 (23)	4 (0.3)	0 (0)	0 (0)	18 (24)	19 (0.3)
30	蛍光分光光度計	31 (66)	39 (0.8)	9 (69)	13 (1)	3 (19)	3 (0.2)	43 (57)	55 (0.7)
31	X線回折装置	8 (17)	8 (0.2)	3 (23)	3 (0.2)	0 (0)	0 (0)	11 (14)	11 (0.1)
32	アミノ酸分析計	7 (15)	7 (0.1)	3 (23)	3 (0.2)	0 (0)	0 (0)	10 (13)	10 (0.1)
33	真空凍結乾燥機	29 (62)	42 (0.9)	11 (85)	16 (1.2)	1 (6)	1 (0.1)	41 (54)	59 (0.8)
34	ゲルマニウム半導体核種検出装置	31 (66)	44 (0.9)	6 (46)	6 (0.5)	0 (0)	0 (0)	37 (49)	50 (0.7)
35	低バックグラウンド放射線測定装置	17 (36)	19 (0.4)	2 (15)	2 (0.2)	1 (6)	1 (0.1)	20 (26)	22 (0.3)
36	モニタリングポスト	28 (60)	100 (2.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (37)	100 (1.3)
37	液体シンチレーションカウンター	16 (34)	18 (0.4)	2 (15)	2 (0.2)	1 (6)	1 (0.1)	19 (25)	21 (0.3)

図1 地方衛生研究所の主要備品保有状況(その1) 平成17年12月調査

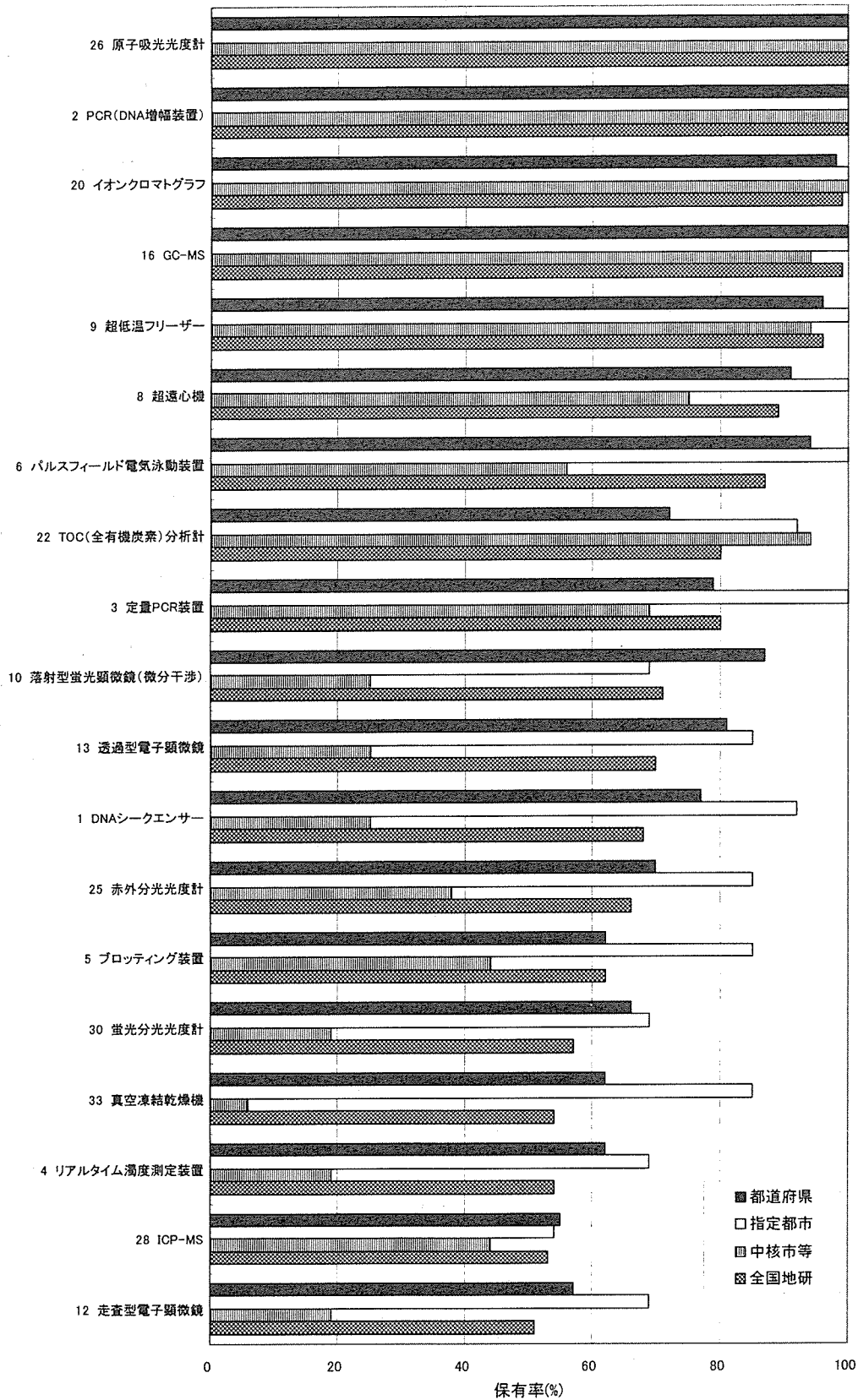


図1 続き 地方衛生研究所の主要備品保有状況(その2) 平成17年12月調査

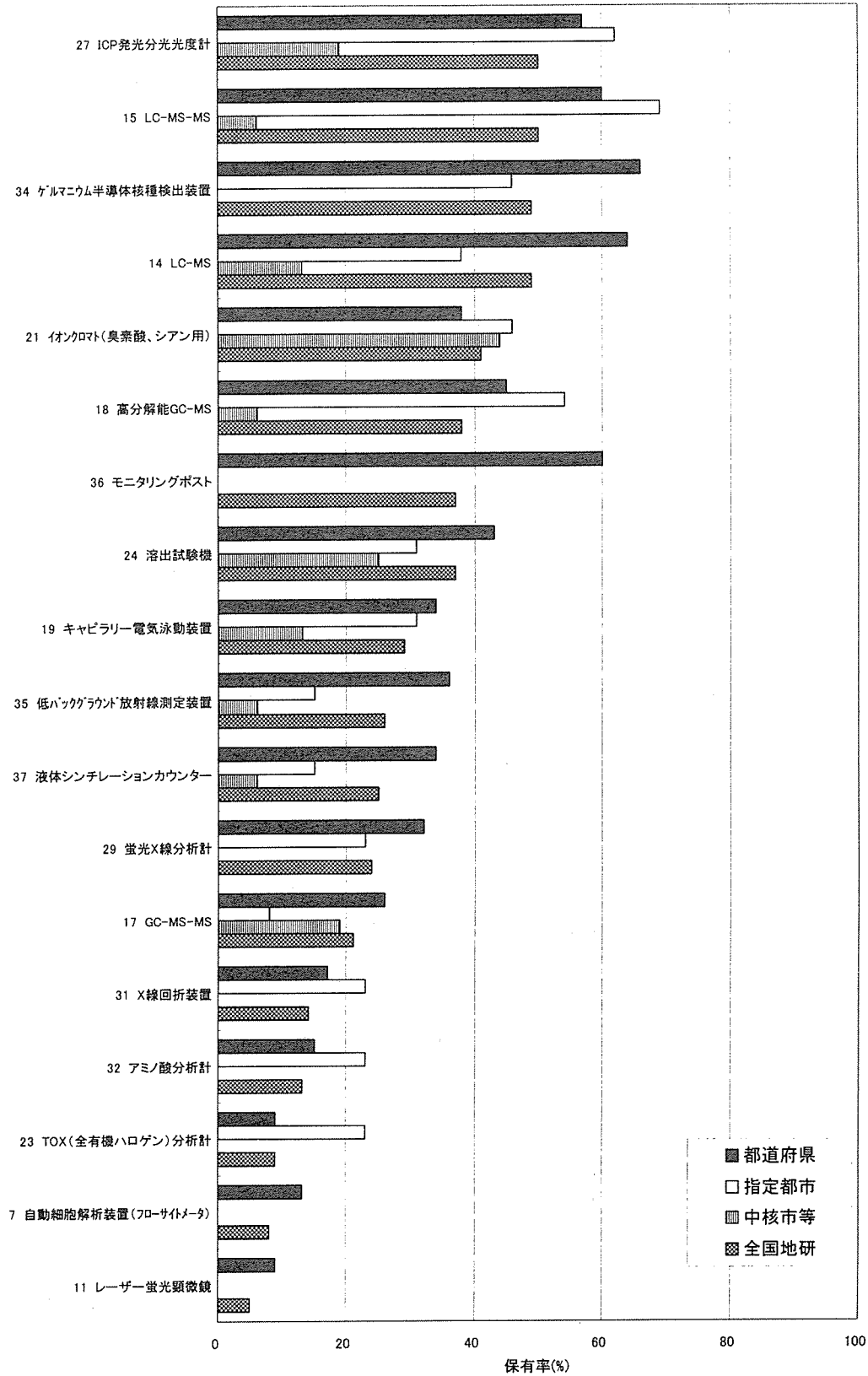


表2 試験検査の状況 微生物分野(都道府県と政令指定都市地研)

A=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの間; C=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応可能は≤1

ブロック別		全地区	北海道・東北 ・新潟地区			関東・甲・信 ・静地区			東海・北陸 地区			近畿地区			中国・四国 地区			九州地区		
機関数		(N=59)	(N=10)			(N=13)			(N=7)			(N=9)			(N=10)			(N=10)		
類型別	感染症別/検査別	検査の 状況	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない	検査の 状況	検査中・ 可能	検査でき ない
		一類	エボラ出血熱	C	C	0	10	C	0	13	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C
	クリミア・コンゴ出血熱	C	C	0	10	C	0	13	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C	0	10
	マールブルグ病	C	C	0	10	C	0	13	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C	1	9
	ラッサ熱	C	C	0	10	C	0	13	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C	1	9
	痘そう	C>B	C	1	9	B	4	9	C	1	6	C	1	8	C	0	10	C	1	9
	ペスト	B	B	4	6	B	6	7	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
	重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスに限る)	A	A	10	0	A	12	1	A	6	1	A	9	0	A	9	1	A	10	0
二類	ジフテリア	B	B	6	4	B	8	5	B	5	2	B	5	4	B	6	4	B	6	4
	急性灰白髄炎	A	A	10	0	A	12	1	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	コレラ	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	細菌性赤痢	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	腸チフス	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	パラチフス	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
四類	コクシジオイデス症	C	C	1	9	C	0	13	C	1	6	C	1	8	C	0	10	C	0	10
	Bウイルス病	C	C	1	9	C	0	13	C	1	6	C	0	9	C	0	10	C	1	9
	黄熱	C>B	C	1	9	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	0	10	C	0	10
	リッサウイルス感染症	C	C	1	9	C	1	12	C	1	6	C	1	8	C	0	10	C	1	9
	狂犬病	C=B	C	1	9	B	6	7	C	1	6	B	3	6	B	3	7	C	1	9
	回帰熱	C>B	B	2	8	C	1	12	C	1	6	C	1	8	C	0	10	C	0	10
	サル痘	C>B	B	2	8	B	3	10	C	1	6	C	0	9	C	0	10	C	0	10
	ニパウイルス感染症	C>B	B	2	8	C	0	13	C	1	6	C	1	8	C	0	10	C	0	10
	エキノコックス症	C>B	B	2	8	B	4	9	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C	1	9
	腎症候性出血熱	C=B	B	3	7	B	2	11	C	0	7	B	2	7	C	0	10	C	1	9
	ライム病	B>C	B	3	7	B	6	7	B	2	5	C	0	9	B	2	8	B	2	8
	ハンタウイルス肺症候群	C>B	B	4	6	B	2	11	C	0	7	C	1	8	C	0	10	C	1	9
	野兔病	B=C	B	3	7	B	5	8	B	2	5	C	1	8	C	0	10	C	1	9
	ブルセラ症	B>C	B	4	6	B	4	9	B	3	4	B	2	7	C	1	9	C	1	9
	発しんチフス	C=B	B	4	6	B	4	9	C	1	6	C	0	9	C	1	9	B	4	6
	レプトスピラ症	B>C	B	4	6	B	5	8	B	2	5	C	1	8	B	3	7	B	2	8
	デング熱	B	B	4	6	B	8	5	B	3	4	B	6	3	B	3	7	B	4	6
	マラリア	B	B	3	7	B	5	8	B	4	3	B	4	5	B	3	7	B	4	6
	E型肝炎	B	B	5	5	B	8	5	B	2	5	B	5	4	B	7	3	B	6	4
	日本紅斑熱	B>A	B	5	5	B	7	6	B	3	4	B	2	7	A	9	1	B	7	3
	オウム病	B>A	B	6	4	B	10	3	B	5	2	B	5	4	A	10	0	B	5	5
	Q熱	B	B	7	3	B	8	5	B	3	4	B	3	6	B	8	2	B	4	6
	つつが虫病	B>A	B	7	3	A	11	2	B	5	2	B	4	5	A	10	0	B	8	2
	日本脳炎	A>B	B	8	2	A	12	1	A	7	0	A	8	1	A	10	0	A	9	1
	A型肝炎	A>B	A	10	0	A	11	2	A	6	1	B	6	3	B	8	2	A	10	0
	ポツリヌス症	A>B	B	8	2	A	12	1	A	7	0	B	7	2	A	9	1	A	9	1
	高病原性鳥インフルエンザ	A	A	10	0	A	13	0	A	6	1	A	9	0	A	9	1	A	10	0
	ウエストナイル熱	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	炭疽	A	A	10	0	A	12	1	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	レジオネラ症	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0

表2 試験検査の状況 微生物分野(都道府県と政令指定都市地研)

A=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの中間; C=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応可能は≤1

ブロック別 機関数	全地区 (N=59)	北海道・東北 ・新潟地区 (N=10)			関東・甲・信・ 静地区 (N=13)			東海・北陸 地区 (N=7)			近畿地区 (N=9)			中国・四国 地区 (N=10)			九州地区 (N=10)			
	検査 の 状況	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	検査 の 状況	検査 中 ・ 可能	検査 で き な い	
五 類	クロイツフェルト・ヤコブ病	C	C	0	10	C	0	13	C	0	7	C	0	9	C	0	10	C	0	10
	尖圭コンジローマ	C>B	C	1	9	B	5	8	C	1	6	C	1	8	C	1	9	B	2	8
	伝染性紅斑	B>A	B	3	7	B	8	5	A	6	1	B	2	7	B	4	6	B	5	5
	突発性発しん	B	B	5	5	B	10	3	B	5	2	B	5	4	B	3	7	B	5	5
	性器クラミジア感染症	B	B	5	5	B	11	2	B	4	3	B	6	3	B	6	4	B	5	5
	マイコプラズマ肺炎	B>A	B	6	4	A	12	1	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	6	4
	水痘	B>A	B	7	3	B	9	4	A	6	1	B	6	3	B	6	4	B	8	2
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	B>A	B	7	3	B	10	3	A	6	1	B	6	3	B	6	4	B	5	5
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	B>A	B	7	3	B	10	3	A	7	0	B	6	3	A	9	1	B	8	2
	淋菌感染症	B	B	6	4	B	7	6	B	4	3	B	4	5	B	6	4	B	3	7
	梅毒	B>A	B	7	3	A	12	1	B	5	2	B	5	4	B	6	4	B	6	4
	性器ヘルペスウイルス感染症	B>A	B	8	2	A	12	1	A	7	0	B	6	3	B	7	3	B	6	4
	先天性風しん症候群	B>A	B	8	2	B	10	3	A	7	0	B	2	7	A	9	1	B	7	3
	破傷風	B>A	B	8	2	B	10	3	B	4	3	B	4	5	B	7	3	B	6	4
	アメーバ赤痢	B>A	B	7	3	A	11	2	A	7	0	B	7	2	B	7	3	B	6	4
	風しん	A>B	A	9	1	A	12	1	A	7	0	B	7	2	A	10	0	A	9	1
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	A>B	B	8	2	A	12	1	A	7	0	A	8	1	A	10	0	B	8	2
	細菌性髄膜炎	B	B	8	2	B	9	4	B	4	3	B	5	4	B	7	3	B	8	2
	百日咳	B>A	B	8	2	A	10	3	B	5	2	B	5	4	B	6	4	A	9	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	B>A	B	8	2	B	8	5	B	5	2	B	6	3	B	7	3	A	9	1
	ジアルジア症	B=A	A	9	1	B	8	5	A	6	1	B	7	2	A	9	1	B	7	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	A=B	B	8	2	A	12	1	A	6	1	B	7	2	B	6	4	A	9	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	A>B	B	8	2	A	12	1	A	6	1	A	7	2	B	6	4	A	9	1
	クリプトスポリジウム症	A>B	A	9	1	B	11	2	A	6	1	A	8	1	A	10	0	B	8	2
	後天性免疫不全症候群	A>B	A	10	0	A	13	0	B	5	2	A	9	0	A	9	1	A	10	0
	流行性耳下腺炎	A	A	9	1	A	12	1	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	急性出血性結膜炎	A	A	9	1	A	12	1	A	7	0	A	8	1	A	10	0	A	10	0
	RSウイルス感染症	A>B	A	10	0	A	12	1	A	6	1	A	8	1	A	10	0	B	8	2
	麻しん(成人麻しんを除く)	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	7	2	A	10	0	A	10	0
	成人麻しん	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	7	2	A	10	0	A	10	0
	咽頭結膜熱	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	感染性胃腸炎	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	手足口病	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	ヘルパンギーナ	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	無菌性髄膜炎	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	流行性角結膜炎	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	B>A	A	9	1	B	9	4	B	5	2	B	6	3	B	5	5	B	6	4
	薬剤耐性緑膿菌感染症	B>A	A	9	1	B	10	3	A	6	1	B	6	3	B	6	4	B	7	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A=B	A	9	1	B	11	2	A	6	1	B	5	4	B	7	3	A	9	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	B>A	A	9	1	B	11	2	A	7	0	B	7	2	B	7	3	B	8	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A=B	A	9	1	A	13	0	B	5	2	B	7	2	A	9	1	B	8	2
結 核	RFLP分析	B	B	6	4	B	7	6	B	4	3	B	6	3	B	2	8	B	2	8
	薬剤感受性試験	B	B	5	5	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	2	8
	塗抹検査	B	B	8	2	B	11	2	B	4	3	B	6	3	B	5	5	B	3	7

表2 試験検査の状況 微生物分野(都道府県と政令指定都市地研)

A=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの間; C=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応可能は≤1

ブロック別		全地区	北海道・東北・新潟地区 (N=10)			関東・甲・信・静地区 (N=13)			東海・北陸地区 (N=7)			近畿地区 (N=9)			中国・四国地区 (N=10)			九州地区 (N=10)		
機関数		(N=59)	(N=10)			(N=13)			(N=7)			(N=9)			(N=10)			(N=10)		
類型別	感染症別/検査別	検査の状況	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない
		ウイルス性食中毒	E型肝炎ウイルス(水)	B	B	5	5	B	7	6	B	2	5	B	4	5	B	6	4	B
	E型肝炎ウイルス(食品)	B	B	5	5	B	9	4	B	3	4	B	4	5	B	7	3	B	5	5
	E型肝炎ウイルス(便)	B	B	5	5	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	7	3	B	6	4
	クリプトスポリジウム(食品)	B	B	5	5	B	7	6	B	4	3	B	3	6	B	7	3	B	7	3
	クリプトスポリジウム(便)	B>A	B	7	3	B	11	2	A	6	1	B	7	2	A	10	0	B	7	3
	サポウイルス(水)	B	B	8	2	B	9	4	B	5	2	B	5	4	B	8	2	B	8	2
	A型肝炎ウイルス(水)	B>A	A	9	1	B	9	4	A	6	1	B	4	5	B	7	3	A	9	1
	クリプトスポリジウム(水)	B>A	B	8	2	B	11	2	A	6	1	B	7	2	A	10	0	B	7	3
	A型肝炎ウイルス(食品)	A>B	A	10	0	A	12	1	A	7	0	B	4	5	B	8	2	A	9	1
	A型肝炎ウイルス(便)	A>B	A	10	0	A	13	0	A	7	0	B	6	3	B	8	2	A	10	0
	アストロウイルス(水)	B>A	A	9	1	B	9	4	A	6	1	B	5	4	B	8	2	B	8	2
	ノロウイルス(水)	A=B	A	9	1	B	10	3	A	6	1	B	7	2	B	8	2	A	9	1
	サポウイルス(食品)	A>B	A	9	1	B	11	2	A	6	1	B	5	4	A	10	0	A	9	1
	サポウイルス(便)	A>B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	B	5	4	A	10	0	A	10	0
	アストロウイルス(食品)	A>B	A	10	0	B	11	2	A	7	0	B	5	4	A	10	0	A	9	1
	アストロウイルス(便)	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	5	4	A	10	0	A	10	0
	ノロウイルス(食品)	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	8	1	A	10	0	A	10	0
	ノロウイルス(便)	A	A	10	0	A	13	0	A	7	0	A	9	0	A	10	0	A	10	0
院内感染	疥癬	B>C	B	3	7	B	7	6	C	0	7	B	2	7	B	2	8	B	2	8
	カンジタ	B	B	3	7	B	8	5	B	4	3	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	デフィシレ菌	B	B	6	4	B	9	4	B	5	2	B	6	3	B	2	8	B	6	4
	マルトフィリア菌	B	B	8	2	B	7	6	B	4	3	B	6	3	B	4	6	B	4	6
	セパシア菌	B	B	8	2	B	8	5	B	5	2	B	7	2	B	4	6	B	4	6
	抗酸菌	B	B	8	2	B	10	3	B	3	4	B	7	2	B	6	4	B	3	7
	C型肝炎ウイルス	B>A	A	9	1	A	12	1	B	4	3	B	5	4	B	4	6	B	7	3
	B型肝炎ウイルス	B>A	A	9	1	A	12	1	B	5	2	B	5	4	B	4	6	B	8	2
	アシネトバクター	B	B	8	2	B	10	3	B	5	2	B	7	2	B	5	5	B	5	5
	セラチア	B>A	B	8	2	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	6	4	B	5	5
	クレブシエラ	B>A	B	8	2	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	6	4	B	6	4
	エンテロバクター	B>A	B	8	2	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	7	3	B	6	4
	HIV	B=A	A	9	1	A	12	1	B	4	3	A	8	1	B	4	6	B	8	2
	RSウイルス	B>A	A	9	1	A	12	1	B	5	2	B	7	2	B	8	2	B	7	3
	ロタウイルス	A>B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	A	8	1	B	8	2	B	8	2
	腸球菌	B>A	A	9	1	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	6	4	B	6	4
	緑膿菌	B>A	A	9	1	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	6	4	B	6	4
	表皮ふどう球菌	A=B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	B	7	2	B	7	3	B	5	5
	コアグラウゼ陰性ふどう球菌	B>A	A	9	1	B	11	2	A	6	1	B	7	2	B	7	3	B	6	4
	黄色ふどう球菌	A=B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	B	7	2	B	7	3	B	6	4
	大腸菌	A=B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	B	7	2	B	7	3	B	7	3
	レジオネラ	A>B	A	9	1	A	12	1	A	6	1	A	8	1	B	7	3	A	9	1
衛生害虫	トコジラミ類(トコジラミ、タイワントコジラミなど)	B>C	B	2	8	B	9	4	B	2	5	B	5	4	C	1	9	B	3	7
	シラミ類(コロモジラミ、アタマジラミ、ケジラミなど)	B	B	2	8	B	9	4	B	2	5	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	ノミ類(ネコノミ、イヌノミ、ヒトノミなど)	B	B	2	8	B	9	4	B	3	4	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	ドクガ類・イラガ類(ドクガ、チャドクガ、ヒロヘリアオイラガなど)	B	B	2	8	B	9	4	B	2	5	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	ハエ類(クロバエ類、ニクバエ類、イエバエ類、チョウバエ類など)	B	B	3	7	B	9	4	B	2	5	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	ハチ類(スズメバチ類、アシナガバチ類、ミツバチ類、アリガタバチ類など)	B	B	3	7	B	9	4	B	3	4	B	6	3	B	2	8	B	3	7
	クモ類(セアカゴケグモ、クロゴケグモ、ハイイロゴケグモ、カバキコマチグモなど)	B>C	B	3	7	B	9	4	B	3	4	B	7	2	C	1	9	B	3	7
	ゴキブリ類(クロゴキブリ、ワモンゴキブリ、チャバネゴキブリなど)	B	B	3	7	B	9	4	B	3	4	B	7	2	B	3	7	B	3	7
	蚊類(アカイエカ、コガタアカイエカ、ヒトスジシマカなど)	B	B	3	7	B	9	4	B	2	5	B	7	2	B	3	7	B	5	5
	ダニ類(室内塵性ダニ類、イエダニ類、ヒゼンダニ類、マダニ類、ツツガムシ類、タカラダニ類など)	B	B	3	7	B	8	5	B	4	3	B	6	3	B	3	7	B	6	4

表3 試験検査の状況 微生物分野(全国地研)

A=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの中間;
C=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応可能は≤1

ブロック別		全地区	北海道・東北・新潟地区 (N=12)			関東・甲・信・静地区 (N=20)			東海・北陸地区 (N=8)			近畿地区 (N=13)			中国・四国地区 (N=10)			九州地区 (N=12)		
機関数		(N=75)																		
類型別	感染症別/検査別	検査の状況	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない			
		一類	エボラ出血熱	C	C	0	12	C	0	20	C	0	8	C	0	13	C	0	10	C
	クリミア・コンゴ出血熱	C	C	0	12	C	0	20	C	0	8	C	0	13	C	0	10	C	0	12
	マールブルグ病	C	C	0	12	C	0	20	C	0	8	C	0	13	C	0	10	C	1	11
	ラッサ熱	C	C	0	12	C	0	20	C	0	8	C	0	13	C	0	10	C	1	11
	痘そう	C>B	C	1	11	B	4	16	C	1	7	C	1	12	C	0	10	C	1	11
	ペスト	B	B	4	8	B	6	14	B	2	6	B	5	8	B	4	6	B	4	8
	重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスに限る)	A>B	A	11	1	B	15	5	B	6	2	A	12	1	A	9	1	A	11	1
二類	ジフテリア	B	B	8	4	B	9	11	B	5	3	B	7	6	B	6	4	B	6	6
	急性灰白髄炎	A>B	A	11	1	B	15	5	A	7	1	B	10	3	A	10	0	A	11	1
	コレラ	A	A	12	0	A	20	0	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
	細菌性赤痢	A	A	12	0	A	20	0	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
	腸チフス	A	A	12	0	A	20	0	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
	パラチフス	A	A	12	0	A	20	0	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	A	A	12	0	A	20	0	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
四類	コクシジオイデス症	C	C	1	11	C	0	20	C	1	7	C	1	12	C	0	10	C	0	12
	Bウイルス病	C	C	1	11	C	0	20	C	1	7	C	0	13	C	0	10	C	1	11
	黄熱	C>B	C	1	11	C	1	19	C	0	8	B	2	11	C	0	10	C	0	12
	リッサウイルス感染症	C	C	1	11	C	1	19	C	1	7	C	1	12	C	0	10	C	1	11
	狂犬病	B=C	C	1	11	B	6	14	C	1	7	B	3	10	B	3	7	C	1	11
	回帰熱	C>B	B	2	10	C	1	19	C	1	7	C	1	12	C	0	10	C	0	12
	サル痘	C>B	B	2	10	B	3	17	C	1	7	C	0	13	C	0	10	C	0	12
	ニパウイルス感染症	C>B	B	2	10	C	0	20	C	1	7	C	1	12	C	0	10	C	0	12
	エキノコックス症	C>B	B	2	10	B	4	16	C	0	8	C	0	13	C	0	10	C	1	11
	腎症候性出血熱	B=C	B	3	9	B	2	18	C	0	8	B	2	11	C	0	10	C	1	11
	ライム病	B>C	B	3	9	B	6	14	B	2	6	C	0	13	B	2	8	B	2	10
	ハンタウイルス肺症候群	B=C	B	4	8	B	2	18	C	0	8	B	2	11	C	0	10	C	1	11
	野兎病	B=C	B	4	8	B	5	15	B	2	6	C	1	12	C	0	10	C	1	11
	ブルセラ症	B>C	B	4	8	B	5	15	B	3	5	B	2	11	C	1	9	C	1	11
	発しんチフス	B=C	B	4	8	B	4	16	C	1	7	C	0	13	C	1	9	B	4	8
	レプトスピラ症	B>C	B	4	8	B	5	15	B	2	6	C	1	12	B	3	7	B	2	10
	デング熱	B	B	4	8	B	9	11	B	3	5	B	8	5	B	3	7	B	4	8
	マラリア	B	B	5	7	B	6	14	B	4	4	B	6	7	B	3	7	B	5	7
	E型肝炎	B	B	5	7	B	8	12	B	2	6	B	7	6	B	7	3	B	7	5
	日本紅斑熱	B>A	B	5	7	B	7	13	B	3	5	B	2	11	A	9	1	B	7	5
	オウム病	B>A	B	6	6	B	11	9	B	5	3	B	7	6	A	10	0	B	5	7
	Q熱	B	B	7	5	B	9	11	B	3	5	B	3	10	B	8	2	B	4	8
	つつが虫病	B>A	B	7	5	B	14	6	B	5	3	B	5	8	A	10	0	B	8	4
	日本脳炎	B>A	B	8	4	B	12	8	A	7	1	B	9	4	A	10	0	B	10	2
	A型肝炎	B>A	B	10	2	B	13	7	A	7	1	B	10	3	B	8	2	A	12	0
	ボツリヌス症	A=B	B	10	2	B	13	7	A	8	0	B	8	5	A	9	1	A	11	1
	高病原性鳥インフルエンザ	A>B	A	11	1	B	15	5	A	7	1	A	13	0	A	9	1	A	11	1
	ウエストナイル熱	A>B	A	11	1	B	16	4	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	11	1
	炭疽	A>B	A	12	0	B	15	5	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
	レジオネラ症	A>B	A	12	0	B	18	2	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0

表3 試験検査の状況 微生物分野(全国地研)

A=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの間;
C=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応可能は≤1

ブロック別		全地区	北海道・東北・新潟地区		関東・甲・信・静地区		東海・北陸地区		近畿地区		中国・四国地区		九州地区							
機関数		(N=75)	(N=12)		(N=20)		(N=8)		(N=13)		(N=10)		(N=12)							
類型別	感染症別/検査別	検査の状況	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない						
		五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	C	C	0	12	C	1	19	C	0	8	C	1	12	C	0	10	C
	尖圭コンジローマ	C>B	C	1	11	B	5	15	C	1	7	C	1	12	C	1	9	B	2	10
	伝染性紅斑	B	B	3	9	B	9	11	B	6	2	B	3	10	B	4	6	B	5	7
	突発性発しん	B	B	5	7	B	11	9	B	5	3	B	6	7	B	3	7	B	5	7
	性器クラミジア感染症	B	B	6	6	B	16	4	B	4	4	B	8	5	B	6	4	B	5	7
	マイコプラズマ肺炎	B	B	6	6	B	12	8	B	3	5	B	7	6	B	6	4	B	6	6
	水痘	B	B	7	5	B	10	10	B	6	2	B	7	6	B	6	4	B	9	3
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	B	B	7	5	B	11	9	B	6	2	B	7	6	B	6	4	B	5	7
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	B>A	B	7	5	B	13	7	A	7	1	B	8	5	A	9	1	B	9	3
	淋菌感染症	B	B	8	4	B	10	10	B	4	4	B	5	8	B	6	4	B	4	8
	梅毒	B>A	B	8	4	A	19	1	B	6	2	B	7	6	B	6	4	B	8	4
	性器ヘルペスウイルス感染症	B>A	B	8	4	B	14	6	A	7	1	B	7	6	B	7	3	B	6	6
	先天性風しん症候群	B>A	B	8	4	B	11	9	A	7	1	B	3	10	A	9	1	B	7	5
	破傷風	B	B	9	3	B	11	9	B	5	3	B	5	8	B	7	3	B	8	4
	ア메ーバ赤痢	B>A	B	9	3	B	16	4	A	8	0	B	11	2	B	7	3	B	7	5
	風しん	B>A	B	9	3	B	16	4	A	7	1	B	8	5	A	10	0	B	10	2
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	B>A	B	9	3	B	14	6	A	7	1	B	9	4	A	10	0	B	9	3
	細菌性髄膜炎	B	B	10	2	B	12	8	B	4	4	B	6	7	B	7	3	B	9	3
	百日咳	B	B	10	2	B	13	7	B	5	3	B	6	7	B	6	4	B	10	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	B	B	10	2	B	10	10	B	5	3	B	7	6	B	7	3	B	10	2
	ジアルジア症	B>A	B	10	2	B	11	9	B	6	2	B	11	2	A	9	1	B	8	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	B>A	B	10	2	B	13	7	B	6	2	B	11	2	B	6	4	A	11	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	B>A	B	10	2	B	12	8	B	6	2	B	11	2	B	6	4	A	11	1
	クリプトスポリジウム症	B>A	B	10	2	B	13	7	B	6	2	A	12	1	A	10	0	B	10	2
	後天性免疫不全症候群	A>B	B	10	2	A	19	1	B	6	2	A	13	0	A	9	1	A	11	1
	流行性耳下腺炎	A=B	B	10	2	B	15	5	A	7	1	B	10	3	A	10	0	A	11	1
	急性出血性結膜炎	A=B	B	10	2	B	13	7	A	7	1	B	9	4	A	10	0	A	11	1
	RSウイルス感染症	B>A	A	11	1	B	14	6	B	6	2	B	9	4	A	10	0	B	9	3
	麻しん(成人麻しんを除く)	A>B	A	11	1	B	15	5	A	7	1	B	8	5	A	10	0	A	11	1
	成人麻しん	A>B	A	11	1	B	15	5	A	7	1	B	8	5	A	10	0	A	11	1
	咽頭結膜熱	A>B	A	11	1	B	16	4	A	7	1	B	10	3	A	10	0	A	12	0
	感染性胃腸炎	A	A	11	1	A	19	1	A	8	0	A	13	0	A	10	0	A	12	0
	手足口病	A>B	A	11	1	B	16	4	A	7	1	B	10	3	A	10	0	A	11	1
	ヘルパンギーナ	A=B	A	11	1	B	16	4	A	7	1	B	10	3	A	10	0	B	10	2
	無菌性髄膜炎	A>B	A	11	1	B	16	4	A	7	1	B	10	3	A	10	0	A	11	1
	流行性角結膜炎	A>B	A	11	1	B	16	4	A	7	1	B	11	2	A	10	0	A	11	1
	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	A>B	A	11	1	B	16	4	A	8	0	B	11	2	A	10	0	A	11	1
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	B>A	A	11	1	B	9	11	B	5	3	B	9	4	B	5	5	B	8	4
	薬剤耐性緑膿菌感染症	B>A	A	11	1	B	10	10	B	6	2	B	10	3	B	6	4	B	9	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B>A	A	11	1	B	14	6	B	6	2	B	8	5	B	7	3	A	11	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	A=B	A	11	1	B	13	7	A	7	1	B	11	2	B	7	3	A	10	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A>B	A	11	1	B	16	4	B	5	3	A	10	3	A	9	1	A	10	2
結核	RFLP分析	B	B	6	6	B	8	12	B	4	4	B	6	7	B	2	8	B	2	10
	薬剤感受性試験	B	B	5	7	B	12	8	B	3	5	B	7	6	B	4	6	B	3	9
	塗抹検査	B	B	9	3	B	17	3	B	5	3	B	8	5	B	5	5	B	5	7

表3 試験検査の状況 微生物分野(全国地研)

A=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応不可能は≦1; B=AとCの間;
C=都道府県・政令指定都市・中核市等地研のうち、対応可能は≦1

ブロック別		全地区	北海道・東北・新潟地区 (N=12)			関東・甲・信・静地区 (N=20)			東海・北陸地区 (N=8)			近畿地区 (N=13)			中国・四国地区 (N=10)			九州地区 (N=12)		
機関数		(N=75)																		
類型別	感染症別/検査別	検査の状況	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない	検査の状況	検査できない		
		ウイルス性食中毒	E型肝炎ウイルス(水)	B	B	5 7	B	9 11	B	3 5	B	6 7	B	6 4	B	6 4	B	6 6	B	6 6
	E型肝炎ウイルス(食品)	B	B	5 7	B	11 9	B	4 4	B	6 7	B	7 3	B	7 3	B	6 6	B	6 6		
	E型肝炎ウイルス(便)	B	B	5 7	B	11 9	B	4 4	B	7 6	B	7 3	B	7 3	B	7 5	B	7 5		
	クリプトスポリジウム(食品)	B	B	6 6	B	8 12	B	5 3	B	6 7	B	7 3	B	7 3	B	8 4	B	8 4		
	クリプトスポリジウム(便)	B>A	B	8 4	B	14 6	A	7 1	B	11 2	A	10 0	B	9 3	B	9 3	B	9 3		
	サポウイルス(水)	B	B	9 3	B	11 9	B	6 2	B	6 7	B	8 2	B	10 2	B	10 2	B	10 2		
	A型肝炎ウイルス(水)	B>A	B	9 3	B	13 7	A	7 1	B	6 7	B	7 3	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
	クリプトスポリジウム(水)	B>A	B	9 3	B	12 8	A	7 1	B	10 3	A	10 0	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	A型肝炎ウイルス(食品)	B>A	B	10 2	B	17 3	A	8 0	B	7 6	B	8 2	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
	A型肝炎ウイルス(便)	B>A	B	10 2	B	17 3	A	8 0	B	9 4	B	8 2	A	12 0	A	12 0	A	12 0		
	アストロウイルス(水)	B>A	B	10 2	B	11 9	A	7 1	B	6 7	B	8 2	B	10 2	B	10 2	B	10 2		
	ノロウイルス(水)	B>A	B	10 2	B	15 5	A	7 1	B	9 4	B	8 2	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
	サポウイルス(食品)	A=B	B	10 2	B	13 7	A	7 1	B	7 6	A	10 0	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
	サポウイルス(便)	A=B	B	10 2	B	15 5	A	7 1	B	7 6	A	10 0	A	12 0	A	12 0	A	12 0		
	アストロウイルス(食品)	A>B	A	11 1	B	13 7	A	8 0	B	7 6	A	10 0	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
	アストロウイルス(便)	A>B	A	11 1	B	16 4	A	8 0	B	7 6	A	10 0	A	12 0	A	12 0	A	12 0		
	ノロウイルス(食品)	A>B	A	11 1	A	20 0	A	8 0	B	11 2	A	10 0	A	12 0	A	12 0	A	12 0		
	ノロウイルス(便)	A	A	11 1	A	20 0	A	8 0	A	12 1	A	10 0	A	12 0	A	12 0	A	12 0		
院内感染	疥癬	B>C	B	3 9	B	7 13	C	0 8	B	3 10	B	2 8	B	3 9	B	3 9	B	3 9		
	カンジタ	B	B	4 8	B	9 11	B	4 4	B	8 5	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	デフィシル菌	B	B	7 5	B	11 9	B	6 2	B	7 6	B	2 8	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	マルトフィリア菌	B	B	8 4	B	9 11	B	5 3	B	7 6	B	4 6	B	6 6	B	6 6	B	6 6		
	セバシア菌	B	B	8 4	B	10 10	B	6 2	B	8 5	B	4 6	B	6 6	B	6 6	B	6 6		
	抗酸菌	B	B	9 3	B	14 6	B	4 4	B	9 4	B	6 4	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	C型肝炎ウイルス	B	B	9 3	B	16 4	B	4 4	B	7 6	B	4 6	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	B型肝炎ウイルス	B	B	9 3	B	16 4	B	5 3	B	7 6	B	4 6	B	9 3	B	9 3	B	9 3		
	アシネトバクター	B	B	10 2	B	12 8	B	6 2	B	9 4	B	5 5	B	6 6	B	6 6	B	6 6		
	セラチア	B>A	B	10 2	B	14 6	A	7 1	B	11 2	B	6 4	B	7 5	B	7 5	B	7 5		
	クレブシエラ	B>A	B	10 2	B	14 6	A	7 1	B	11 2	B	6 4	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	エンテロバクター	B>A	B	10 2	B	14 6	A	7 1	B	11 2	B	7 3	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	HIV	B>A	B	10 2	B	16 4	B	5 3	A	12 1	B	4 6	B	9 3	B	9 3	B	9 3		
	RSウイルス	B	B	10 2	B	15 5	B	5 3	B	9 4	B	8 2	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	ロタウイルス	B>A	B	10 2	B	15 5	A	7 1	B	11 2	B	8 2	B	10 2	B	10 2	B	10 2		
	腸球菌	B>A	A	11 1	B	15 5	A	7 1	B	11 2	B	6 4	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	緑膿菌	B>A	A	11 1	B	14 6	A	7 1	B	11 2	B	6 4	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	表皮ぶどう球菌	B>A	A	11 1	B	16 4	A	7 1	B	11 2	B	7 3	B	7 5	B	7 5	B	7 5		
	コアグラールゼ陰性ぶどう球菌	B>A	A	11 1	B	15 5	A	7 1	B	11 2	B	7 3	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	黄色ぶどう球菌	B>A	A	11 1	B	17 3	A	7 1	B	11 2	B	7 3	B	8 4	B	8 4	B	8 4		
	大腸菌	B>A	A	11 1	B	17 3	A	7 1	B	11 2	B	7 3	B	9 3	B	9 3	B	9 3		
	レジオネラ	A>B	A	11 1	B	16 4	A	7 1	A	12 1	B	7 3	A	11 1	A	11 1	A	11 1		
衛生害虫	トコジラミ類(トコジラミ、タイワントコジラミなど)	B>C	B	2 10	B	9 11	B	2 6	B	6 7	C	1 9	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	シラミ類(コロモジラミ、アタマジラミ、ケジラミなど)	B	B	2 10	B	9 11	B	2 6	B	7 6	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	ノミ類(ネコノミ、イヌノミ、ヒトノミなど)	B	B	2 10	B	9 11	B	3 5	B	7 6	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	ドクガ類・イラガ類(ドクガ、チャドクガ、ヒロヘリアオイラガなど)	B	B	2 10	B	9 11	B	2 6	B	7 6	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	ハエ類(クロバエ類、ニクバエ類、イエバエ類、チョウバエ類など)	B	B	3 9	B	9 11	B	2 6	B	7 6	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	ハチ類(スズメバチ類、アシナガバチ類、ミツバチ類、アリガタバチ類など)	B	B	3 9	B	9 11	B	3 5	B	7 6	B	2 8	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	クモ類(セアカゴケグモ、クロゴケグモ、ハイロゴケグモ、カバキコマチグモなど)	B>C	B	3 9	B	9 11	B	3 5	B	8 5	C	1 9	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	ゴキブリ類(クロゴキブリ、ワモンゴキブリ、チャバネゴキブリなど)	B	B	3 9	B	9 11	B	3 5	B	8 5	B	3 7	B	4 8	B	4 8	B	4 8		
	蚊類(アカイエカ、コガタアカイエカ、ヒトスジシマカなど)	B	B	3 9	B	10 10	B	2 6	B	8 5	B	3 7	B	7 5	B	7 5	B	7 5		
	ダニ類(室内塵性ダニ類、イエダニ類、ヒゼンダニ類、マダニ類、ツツガムシ類、タカラダニ類など)	B	B	3 9	B	8 12	B	4 4	B	7 6	B	3 7	B	7 5	B	7 5	B	7 5		

表4 試験検査の状況 理化学分野(4)

A=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの間; C=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応可能は≤1

<シックハウスに関する検査>

地域ブロック	全地区	北海道・東北・新潟地区			関東・甲・信・静地区			東海・北陸地区			近畿地区			中国・四国地区			九州地区		
	(N=59)	(N=10)			(N=13)			(N=7)			(N=9)			(N=10)			(N=10)		
検査項目	検査の状況	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない	検査の状況	検査中・可能	検査できない
指針値あり物質																			
ホルムアルデヒド	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	5	5	B	7	3
アセトアルデヒド	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	4	5	B	4	6	B	6	4
トルエン	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	5	5	B	5	5
キシレン	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	5	5	B	5	5
エチルベンゼン	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	5	5
スチレン	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	5	5
p-ジクロロベンゼン	B>A	A	9	1	B	10	3	B	3	4	B	5	4	B	3	7	B	4	6
テトラデカン	B	B	8	2	B	10	3	B	3	4	B	4	5	B	3	7	B	4	6
クロロピリホス	B>C	B	6	4	B	8	5	B	2	5	B	3	6	B	4	6	C	0	10
フタル酸ジ-n-ブチル	B>C	B	6	4	B	5	8	B	3	4	B	2	7	B	2	8	C	1	9
フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	B>C	B	6	4	B	5	8	B	3	4	B	2	7	B	2	8	C	1	9
ダイアジノン	B>C	B	5	5	B	8	5	B	2	5	B	3	6	B	4	6	C	0	10
フェノバルブ	B>C	B	5	5	B	7	6	B	2	5	B	2	7	B	4	6	C	0	10
その他																			
VOC																			
ヘキサン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	5	5	B	4	6
ヘプタン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
ジメチルペンタン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	4	6
オクタン	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
トリメチルペンタン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	4	5	B	4	6	B	4	6
ノナン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
デカン	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
ウンデカン	B	B	8	2	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
ドデカン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	3	7
トリデカン	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	3	7
ペンタデカン	B	B	8	2	B	9	4	B	2	5	B	4	5	B	4	6	B	3	7
ヘキサデカン	B	B	8	2	B	9	4	B	2	5	B	4	5	B	4	6	B	3	7
ベンゼン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
トリメチルベンゼン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	4	6
テトラメチルベンゼン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
メチルエチルケトン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
メチルイソブチルケトン	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	4	5	B	4	6	B	4	6
酢酸エチル	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
酢酸ブチル	B	B	6	4	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	4	6
ブタノール	B	B	8	2	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	4	6
ノナノール	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	3	7
デカノール	B	B	7	3	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
クロロホルム	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
四塩化炭素	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
1,2-ジクロロエタン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
1,1,1-トリクロロエタン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
トリクロロエチレン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
テトラクロロエチレン	B	B	8	2	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	6	4	B	4	6
クロロジプロモメタン	B	B	8	2	B	9	4	B	2	5	B	5	4	B	4	6	B	3	7
1,2-ジクロロプロパン	B	B	7	3	B	9	4	B	3	4	B	5	4	B	4	6	B	3	7
a-ピネン	B	B	8	2	B	8	5	B	3	4	B	4	5	B	4	6	B	4	6
リモネン	B	B	7	3	B	8	5	B	3	4	B	4	5	B	4	6	B	4	6

表4 試験検査の状況 理化学分野(4)

A=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応不可能は≤1; B=AとCの間; C=都道府県・政令指定都市地研のうち、対応可能は≤1

<シックハウスに関する検査>

地域ブロック	全地区 (N=59)			北海道・東北・ 新潟地区 (N=10)			関東・甲・信・ 静地区 (N=13)			東海・北陸 地区 (N=7)			近畿地区 (N=9)			中国・四国 地区 (N=10)			九州地区 (N=10)		
	検査 の 状 況	検査 の 状 況	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	検査 中 ・ 可 能	
殺虫剤																					
エトフェンプロックス	B>C	B	3	7	B	2	11	B	2	5	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
ピフェンスリン	B>C	B	3	7	B	2	11	C	1	6	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
ベルメリン	B>C	B	5	5	B	3	10	B	2	5	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
カルバリル	C>B	B	4	6	C	1	12	C	1	6	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
フェノキシカルブ	B=C	B	3	7	C	0	13	C	1	6	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
プロボクスル	C>B	B	2	8	C	0	13	C	0	7	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
クロルピリホスメチル	B>C	B	4	6	B	2	11	B	2	5	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
ジクロフェンチオン	B=C	B	2	8	C	1	12	C	0	7	B	2	7	B	3	7	C	1	9		
ジクロロボス	B>C	B	4	6	B	2	11	B	2	5	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
テトラクロルピンホス	B=C	B	2	8	C	1	12	C	0	7	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
マラチオン	B>C	B	4	6	B	2	11	C	1	6	B	2	7	B	3	7	C	0	10		
N,N-ジメチル-m-トルアミド	C>B	B	2	8	C	0	13	C	0	7	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
シラフルオフェン	B=C	B	3	7	B	2	11	C	1	6	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
トリプロピルイソシアヌレート	C>B	B	2	8	C	0	13	C	0	7	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
ピリプロキシフェン	C>B	B	3	7	C	1	12	C	1	6	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
メキサジアゾン	C>B	B	2	8	C	0	13	C	0	7	C	1	8	B	3	7	C	0	10		
供力剤																					
2,3,3,3,2',3',3'-オクタクロロジプロピルエーテル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	C	1	8	C	1	9	C	0	10		
殺菌剤																					
クロロタロニル	C>B	B	4	6	C	0	13	C	1	6	C	1	8	B	2	8	C	0	10		
可塑剤・難燃剤																					
アジピン酸ジ(2-エチルヘキシル)	C>B	B	4	6	C	1	12	C	1	6	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジメチル	B>C	B	3	7	B	2	11	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジエチル	B>C	B	4	6	B	2	11	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジ-n-プロピル	B=C	B	4	6	C	1	12	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジ-n-ブチル	B>C	B	4	6	B	2	11	B	3	4	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジイソブチル	B=C	B	4	6	C	1	12	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジ-n-ペンチル	B=C	B	4	6	C	1	12	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジ-n-ヘキシル	B=C	B	4	6	C	1	12	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ジシクロヘキシル	B=C	B	4	6	C	1	12	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
フタル酸ベンジルブチル	B>C	B	4	6	B	2	11	B	2	5	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリエチル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリプロピル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリブチル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリフェニル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリクレジル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリス(2-クロロエチル)	C>B	B	4	6	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリス(1,3-ジクロロ-2-プロピル)	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	B	2	7	C	1	9	C	0	10		
リン酸トリプロピル	C>B	B	3	7	C	1	12	C	0	7	C	1	8	C	1	9	C	0	10		

表5 地研健康危機事例情報(理化学分野)についての解析

(1) 原因物質別掲載件数 (3件以上;n=233)

原因物質名	件数
重金属 ^(注1)	50
農薬 ^(注2)	47
PCB	20
重油	16
貝毒	12
フェンフルラミン、N-ニトロソフェンフルラミン等	11
ジエチレングリコール	9
放射能	9
ヒスタミン	7
かび臭	5
シアン化合物	5
クロロフルアズロン	4
サリン等	3
ダイオキシン	3
トリハロメタン	3
ホルムアルデヒド	3
一酸化炭素	3
過酸化水素	3
空気中化学物質	3
粉じん	3
硫化水素	3
不明	11
計	233

(注1) 重金属の内訳

アンチモン	1
カドミウム	14
クロム	11
スズ	1
ヒ素	5
鉛	4
水銀	10
硫酸バリウム	1
重金属*	3
計	50

*多項目や「重金属」として掲載されているため分類は不可

(注2) 農薬の内訳

BHC, DDT	4
CNP	2
EPN	1
PCP(ペンタクロロフェノール)	2
クオルデン	4
クロロニトロフェン	2
クロロフェノール類	1
シロアリ防除剤	1
ディルドリン, エンドリン	2
パラコート	1
フェントロチオン	1
メチルイソシアネート	7
有機塩素系農薬	3
農薬*	16
計	47

*多項目や「農薬」として掲載されているため分類は不可

表5 地研健康危機事例情報(理化学分野)についての解析

(2) 健康被害の規模別事例(患者数2以上;n=97)

表題	原因物質	発生年	死亡数	患者数
新潟水俣病(新潟県)	メチル水銀	1965	55	674
K油症事件(西日本を中心に米ぬか油に混入したPCBを原因とする事件)(福岡市)	PCB	1968	28	1283
東京・地下鉄サリン事件(東京都)	サリン、メチルホスホノフルオリド酸イソプロピル	1995	12	5500
松本サリン事件における原因物質の究明(長野県)	サリン	1994	7	591
食品中への毒物混入による食中毒(和歌山市)	ヒ素	1998	4	67
ヒドロキシシリアミン製造工場の爆発事故(群馬県)	ヒドロキシシリアミン	2000	4	58
中国製ダイエット用健康食品(未承認医薬品)による健康被害(静岡市)	フェニフルラミン等	2002	3	671
硫化水素ガスによる中毒(福岡県)	硫化水素(H ₂ S)	1999	3	4
都市公園内で採取したキノコによる留学生一家の食中毒(名古屋市)	アマニタキシシ	1993	2	3
製肥工場の硫化水素ガス発生事故(和歌山市)	硫化水素	2000	1	44
タリウム中毒事例(沖縄県)	硫酸タリウム	1976	1	6
ズルテンによる食中毒(島根県)	ズルテン	1966	1	6
シロタマゴテングタケによる食中毒(栃木県)	シロタマゴテングタケ	1998	1	5
アオブダイによる食中毒(愛知県)	パリトキシシ	1986	1	2
オゴノリが原因と思われる食中毒(愛媛県)	原因物質不明	1982	1	2
しょう油のバラコート汚染(高知県)	バラコート	1975	1	2
雑フグによる中毒(秋田県)	フグ	1978	1	1
化製工場の悪臭公害(山口県)	不明	1965	0	100000
フェノール流出事故に伴う水道水異臭(兵庫県)	フェノール	2002	0	8917
光化学スモッグ問題(東京都)	大気中オキシダント	1970	0	6000
大気汚染(山口県)	ばい煙	1971	0	2279
K油症事件(福岡県)	カネクロール400(PCB、PCDF、PCDD、PCQ)	1968	0	1862
照明施設による眼炎症発生事例(沖縄県)	水銀灯から発生した紫外線	1974	0	1500
刺激性ガス(山口県)	クロロメタン	1970	0	1000
横浜駅などで発生した異臭事件(1)(横浜市)	不明	1995	0	548
ばい煙(山口県)	不明	1971	0	510
KライスオイルによるPCB中毒事件発生(長崎県)	PCB	1968	0	412
ホスゲンガス流出事故(山口県)	ホスゲンガス	1966	0	402
ばい煙(山口県)	ばい煙	1972	0	400
アレルギー性結膜炎集団発生原因調査(神奈川県)	イタリアンライグラス花粉	1988	0	397
ホタテガイによる食中毒(青森県)	貝	1978	0	366
米ぬか油症事件(島根県)	PCB	1968	0	300
コタマガイによる大規模食中毒(茨城県)	貝	1981	0	275
具志川海岸皮膚炎発生(沖縄県)	藍藻類リングピア	1968	0	242
乳児用調整粉乳の異臭味(兵庫県)	アリアルミルグリコレート	1999	0	241
シガテラ毒魚中毒(沖縄県)	シガテラ	1974	0	128
社員食堂のイワシの蒲焼きによるヒスタミン中毒(東京都)	ヒスタミン	2000	0	127
中国製ダイエット食品における健康被害(愛知県)	甲状腺末、N-ニトロソフェニフルラミン	2002	0	118
井草森周辺環境問題(杉並区)	不明	1996	0	100
室内の化学物質汚染(東京都)	ホルムアルデヒド、VOC	1992	0	100
ヒスタミン食中毒例(山口県)	ヒスタミン	1983	0	97
カジキマグロによるヒスタミン食中毒(和歌山県)	ヒスタミン	1984	0	57
カジキマグロのピカタによるヒスタミン食中毒(名古屋)	ヒスタミン	1999	0	43
中国製未承認医薬品の服用後に発生した健康被害事例について(福岡県)	健康食品	2000	0	41
パック入り牛乳の異臭味(兵庫県)	強アルカリ洗浄剤	1999	0	40
ホシゴマシズまたはゴマシズによる食中毒(疑)事件(大阪府)	不明	1999	0	35
クロロフェノール類を異臭原因物質とした甘納豆の苦情(東京都)	クロロフェノール類	2003	0	34
健康食品による健康被害(ビー プティート)(静岡県)	N-ニトロソフェニフルラミン、甲状腺ホルモン	2002	0	34
室内温水プールでの自動車排ガスによるCO中毒と思われる事故(横浜市)	一酸化炭素	1975	0	34
じゃがいものソラニン等自然毒によると思われる幼稚園児の中毒(兵庫県)	ソラニン、チャコニン	2000	0	33
一般廃棄物処理施設における異臭事故(栃木県)	農薬	1995	0	27
催涙スプレーによる集団負傷事件(東京都)	催涙スプレー(トウガラシ抽出エキス)	2002	0	26
小学校におけるソラニンによる食中毒(広島県)	ソラニン	2000	0	26
横浜駅西口のショッピングモールで発生した異臭事件(2)(横浜市)	不明	1995	0	24

表題	原因物質	発生年	死亡数	患者数
アブラソコムツによるヒスタミン食中毒(東京都)	ヒスタミン	1998	0	21
学校給食用飲用牛乳の異臭(石川県)	異臭	2000	0	20
養殖マガキによる食中毒事件(山口県)	貝毒	1979	0	16
荷役作業におけるパラニトロクロロベンゼンの急性中毒(大阪府)	パラニトロクロロベンゼン	1984	0	11
健康食品による健康被害(ビューティ シェイプ)(静岡県)	N-ニトロソフェンフルラミン	2002	0	9
洋白銀製食器から溶出した重金属による健康被害(群馬県)	重金属	1995	0	9
パインドリンク事故発生(長崎県)	スズ	1975	0	8
チョウセンアサガオの根による食中毒(島根県)	アルカロイド中のアトロピン	1971	0	8
ジャガイモのアルカロイドによる食中毒(東京都)	ソラニン、チャコニン	2003	0	6
チョウセンアサガオの誤食が原因と考えられる食中毒事例(京都府)	スコポラミン、アトロピン	2002	0	5
中国産ダイエット薬による健康被害(香川県)	フェンフルラミン、N-ニトロソフェンフルラミン、甲状腺ホルモン	2002	0	5
チョウセンアサガオによる食中毒事例(大分県)	ヒヨスチアミン、スコポラミン	2001	0	5
大あさりによる貝類の食中毒(三重県)	原因物質不明	2001	0	5
植物性自然毒による食中毒(ハシリドコロ)(岐阜県)	ハシリドコロ	2000	0	5
毒きのこによる食中毒(岡山県)	カキシメジの植物性自然毒	2002	0	4
巻貝による食中毒事例(京都府)	テトラミン	2002	0	4
調剤薬剤による健康被害(三重県)	ハロペリドール	2002	0	4
室内空气中化学物質による健康被害(一般住宅3)(大阪府)	ホルムアルデヒド	2002	0	4
室内空气中化学物質による健康被害(大阪府)	ホルムアルデヒド	2001	0	4
「クワズイモ」による食中毒(長崎県)	クワズイモ	2000	0	4
クワズイモによる食中毒(長崎県)	クワズイモ	2000	0	4
毒キノコ(ドクツルタケ)による食中毒(福岡県)	ドクツルタケ	2000	0	4
チョウセンアサガオによる食中毒(岡山県)	チョウセンアサガオ	1996	0	4
蛍光灯器具用コンデンサーの破裂事故によるPCB暴露事例(大阪府)	PCB	2002	0	3
室内空气中化学物質による健康被害(一般住宅1)(大阪府)	シロアリ防除剤(同定できず)	2002	0	3
中国製ダイエット用健康食品における健康被害(鳥取県)	N-ニトロソフェンフルラミン	2001	0	3
巻貝による食中毒事例(京都府)	テトラミン	2000	0	3
マグロによるじんましん(大阪市)	ヒスタミン	2000	0	3
中性洗剤の混入した焼うどんによる食中毒(姫路市)	中性洗剤	2000	0	3
低毒性有機溶剤による皮膚炎(手指)(大阪府)	有機溶剤	1999	0	3
フグ毒による食中毒(神戸市)	フグ毒	2004	0	2
ドクツルタケによる食中毒(神戸市)	ドクツルタケの毒成分アマニトキシシン	2003	0	2
雪茶の飲用後に発生した健康被害について(福岡県)	不明	2003	0	2
無承認医薬品による健康被害(肝機能障害)(栃木県)	N-ニトロソフェンフルラミン	2002	0	2
中国製及び米国製ダイエット食品における健康被害(石川県)	N-ニトロソフェンフルラミン、エフトリン、センソト	2002	0	2
そばのアルコール臭(埼玉県)	エタノール	2002	0	2
室内空气中化学物質による健康被害(一般住宅2)(大阪府)	ホルムアルデヒド	2002	0	2
バラハタによる食中毒(神奈川県)	シガテラ毒	2001	0	2
オオメマトウダイによる下痢症状(神奈川県)	不消化性脂質(パラフィン等)	2001	0	2
カエンタケによる食中毒事例(群馬県)	カエンタケ	2000	0	2
ドクツルタケによる食中毒(大阪市)	ドクツルタケ	2000	0	2
ゴム手袋による接触性皮膚炎(大阪府)	ニトリルゴム	2000	0	2
コーヒー入り清涼飲料水への過酸化水素の混入(広島市)	過酸化水素	1987	0	2

表5 地研健康危機事例情報(理化学分野)についての解析

(3) 年代別原因物質別発生件数集計

種類	原因物質	単位:件					合計	単位:人	
		-1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代		被害者数合計*	死者数/被害者数
汚染物質	PCB	6	13			1	20	28 /	3,860
	クロロフルアズロン				6		6		
	ダイオキシン類		1		2	1	4		
	フタル酸エステル		1		2		3		
	有機スズ化合物				2		2		
	メチル水銀	1					1	55 /	674
重金属	カドミウム	4	9		1		14		
	クロム	1	7	2	1		11		
	水銀		10				10		
	重金属		3	2	4	1	10	1 /	23
	ヒ素		2		3		5	4 /	67
農薬	農薬	3	9	11	19	5	47	1 /	66
化学薬品	化学薬品	1	3	2	11	7	24	4 /	314
	揮発性有機塩素化合物		1	10	3		14		
	ジエチレングリコール			9			9		
	有機溶剤		1		2	3	6	0 /	6
	シアン化合物		1	3	1		5		
	殺菌剤			3	1	1	5	0 /	3
	ホルムアルデヒド				1	3	4	0 /	110
	フェノール					2	2	0 /	8,917
ガス	ガス		1			2	3	0 /	1,026
	一酸化炭素		1		2		3	0 /	34
	硫化水素		1		1	1	3	4 /	48
	亜硫酸ガス	2					2		
	ホスゲンガス	1					1	0 /	402
化学兵器	サリン等				3		3	19 /	6,091
	フェニル化ヒ素化合物					1	1		
食品添加物	食品添加物	1	3	1		1	6	1 /	6
健康食品	健康食品				2	20	22	3 /	891
医薬品	ビタミン		1		1		2		
	医薬品		1			1	2	0 /	4
自然毒	植物毒		1		3	15	19	3 /	124
	貝毒		4	3	9	2	18	0 /	664
	ヒスタミン			2	2	3	7	0 /	349
	魚毒		2	2		2	6	1 /	134
	フグ毒		2			1	3	1 /	3
	アフラトキシン			1			1		
工業用品	アスベスト			2			2		
洗浄剤	洗浄剤		1	1	1	1	4	0 /	43
燃料油	重油		4		13		17	0 /	1
	燃料油	1			1	3	5		
放射能	放射能		1	7	2	1	11		
不明	原因物質不明	2	1	1	5	3	12	1 /	101,226
その他	その他	3	11	17	11	10	52	1 /	10,839
総計		26	96	81	113	91	407	127 /	135,925

* 被害者数合計: 死者数及び被害者数の掲載があったものを合計。

表6 地研の健康危機対応検査マニュアル(理化学分野)についての解析

(1) マニュアルの概要、検査項目、特徴等 (n=23)

No.	衛生研究所等	マニュアル名称	体制マニュアル	検査マニュアル	連絡系統図	マニュアルの概要	別添
13	岐阜市衛生試験所	岐阜市衛生試験所健康危機管理マニュアル	○			目的 検査対応項目 通報・連絡体制 健康危機発生時の通報及び検体の受理 検体の採取量 検査体制及び方法 検査項目の推定 簡易キット 検査結果の報告 検体等の保管 試薬等の確保 情報収集・協力要請等 支援体制 連絡調整・報道対応責任者 研究の推進教育訓練の実施 マニュアルの見直し等	健康危機発生通報等受信記録票 健康危機管理時における検査体制 感染症・食中毒発生時の情報収集・協力要請先 毒劇物中毒発生時の情報収集・協力要請先 飲料水水質汚染発生時の情報収集・協力要請先
14	滋賀県立衛生環境センター	毒物劇物検査マニュアル(理化学編)		○		はじめに 検査業務の概要 予備検査 スクリーニング検査 確定検査 毒物、中毒に関する参考情報	毒物劇物検査フロー
15	大阪府立公衆衛生研究所	健康危機管理における地方衛生研究所の役割に関する研究(平成12,13年度)		○		血液中金属類の測定法の検討 血液中のメヘモグロビンの測定法 気中有毒化学物質の分析法の検討 化学物質検査マニュアルの作成(試料別検査マニュアル)	水および底質中の中毒物質検索方法フローシート 有機・無機中毒物質の種類 空気中の有害化学物質・食品中の中毒化学物質・生体試料中の有害化学物質の検索フローシート 健康危機管理検査法フローシート(医薬品) 向精神薬の分析 尿中の向精神薬の分析 プロムワレリル尿素、アセトアミノフェンの同時分析
16	堺市衛生研究所	①堺市衛生研究所健康危機管理要領 ②毒物及び劇物検査対応マニュアル(食品編・環境編)	○	○	○	①目的 平常時の業務 分析技術の研究及び研修と人材育成 設備機材等の整備と点検発生時 緊急配備 緊急対策会議 緊急対策班の役割 試験検査 検査結果の報告 委任 ②はじめに 毒物及び劇物等検査の実施 検査結果等の措置 検査実施のフローシート	健康被害発生時対策図 職員の緊急配備 衛生研究所連絡網 発生状況報告書 緊急対策班組織図 情報収集マニュアル
17	兵庫県立健康環境科学研究所	①兵庫県毒劇物検査マニュアル ②飲料水健康危機管理に係わるフェノール、遊離シアン、アンモニウム迅速簡易測定法		○		①毒物確定に至る基本的な流れ 化学毒物が混入した飲料水、食品の検査フローシート 毒物混入事件発生時における注意事項 衛生研究所で行う精密検査の流れ 食品混入化学毒物の迅速検査マニュアル 毒劇物に関する情報及び収集方法 代表的な毒劇物の急性毒性 ②はじめに バックテストの使用にあたっての基本的な考え方 実験結果および考察・評価バックテストによる測定方法について	バックテストを用いた試料水の水質と測定における共存物質の影響(妨害物質の濃度とイオン等) 簡易検査法(バックテスト)における適用濃度と評価 飲料水健康危機管理に係る原因物質検査フローシート(塩素処理で毒性増強、異臭味発生物質を含む) バックテストの有効期限 モデル実験
18	尼崎市立衛生研究所	尼崎市毒劇物検査マニュアル(厚生省配布迅速検査キットを含む)		○		はじめに 毒劇物混入が疑われる食中毒への対応 毒劇物混入が疑われる食中毒に係る試験項目、試験法及び試験法の習得 毒劇物に関する情報及び収集方法 代表的な毒劇物の急性毒性	毒劇物混入が疑われる食中毒が起こった場合に保健所と衛生研究所で分担する試験の流れ図
19	和歌山県環境衛生研究センター	①毒物検査体制マニュアル ②毒物検査検討会設置要綱 ③毒物検査検討会要領	○		○	①目的 検査体制 毒物検査検討会 環境衛生研究センター ②目的 構成 会議 庶務	毒物検査対策フロー図 毒物検査要請について 毒物検査指示書 食中毒に関する試験・検査対応に係る緊急時・重大時の対策フロー図
20	和歌山市衛生研究所	毒物検査マニュアル		○	○	毒物を特定するに至る流れ 毒物混入事件発生時における注意事項 毒物検査シミュレーションの実施 食品混入化学物質の迅速検査法マニュアル 環境水中化学物質の迅速検査法マニュアル 自然毒に関する検査法マニュアル 毒物・劇物に関する情報収集方法 検査可能物質について	薬毒物の毒性とその処置法について
21	高知県衛生研究所	毒劇物検査マニュアル		○		毒物確定に至る基本的な流れ 毒物混入事件発生時における注意事項 検査法・検査機器分析法及び参考図書	なし
22	福岡県保健環境研究所	食品及び人体試料中の毒劇物迅速分析法の開発		○		研究報告(研究要旨、研究方法、学会・誌上发表等の研究成果、文献) 成果物(毒劇物混入による食中毒のための原因究明マニュアル)	なし
23	福岡市保健環境研究所	①福岡市保健環境研究所危機管理対応要綱 ②所内調整会議設置要領	○			①目的 所内調整会議 部門別対応マニュアル 報告 広報 要綱の見直し、修正補充 その他 ②構成 議長 会議の開催 決定すべき事項	危機発生時の職員配置例 微生物を原因とする事例対応マニュアル 主な化学物質(毒物、劇物)の検査体制 毒物及び劇物取扱い要領 健康危機管理に関する連絡先一覧等

○:マニュアル有 △:マニュアル有りそうだが送られてきていない